

平成 19 年 10 月 24 日

各 位

会 社 名 スパークス・グループ株式会社  
 代表者の役職名 代表取締役社長 阿部 修平  
 (JASDAQ コード番号 : 8739)  
 問い合わせ先 常務取締役 深見 正敏  
 電 話 番 号 0 3 - 5 4 3 7 - 9 7 0 0

(訂正)「平成 20 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況」の一部訂正について

平成19年8月8日付で発表しました「平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況」の一部訂正がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。なお、訂正箇所は下線太字で表示しております。

記

1. 訂正箇所

- (1) (1 頁) 1. 平成 20 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 6 月 30 日)、(1)連結経営成績
- (2) (1 1 頁) 6. (要約) 四半期連結財務諸表、(1) (要約) 四半期連結貸借対照表
- (3) (1 4 頁) 6. (要約) 四半期連結財務諸表、(4) 四半期連結株主資本等変動計算書

2. 訂正内容

(1) (1 頁)

- 1. 平成 20 年 3 月期 第 1 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 6 月 30 日)  
 (1)連結経営成績

【訂正前】

	1 株当たり四半期 (当期) 純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期) 純利益	
	円	銭	円	銭
20 年 3 月期第 1 四半期	251	05	<u>243</u>	<u>55</u>
19 年 3 月期第 1 四半期	1, 158	38	1, 103	00
19 年 3 月期	1, 897	00	1, 820	44

【訂正後】

	1 株当たり四半期 (当期) 純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期) 純利益	
	円	銭	円	銭
20 年 3 月期第 1 四半期	251	05	<u>243</u>	<u>45</u>
19 年 3 月期第 1 四半期	1, 158	38	1, 103	00
19 年 3 月期	1, 897	00	1, 820	44

(2) (11頁)

6. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

【訂正前】

科目	前期同四半期末 (平成19年3月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 前期末 (平成19年3月期末)
	金 額	金 額	金 額	増 減 率	金 額
(純資産の部)					
・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・
II 評価・換算差額等					
1. その他有価証券評価 差額金	-	<u>6,222,304</u>	-	-	2,390,817
2. 為替換算調整勘定	-	<u>4,311,171</u>	-	-	2,908,462
評価・換算差額等合計	-	10,533,476	-	-	5,299,280
・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・

【訂正後】

科目	前期同四半期末 (平成19年3月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 前期末 (平成19年3月期末)
	金 額	金 額	金 額	増 減 率	金 額
(純資産の部)					
・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・
II 評価・換算差額等					
1. その他有価証券評価 差額金	-	<u>5,509,777</u>	-	-	2,390,817
2. 為替換算調整勘定	-	<u>5,023,698</u>	-	-	2,908,462
評価・換算差額等合計	-	10,533,476	-	-	5,299,280
・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・

(3) (14頁)

6. (要約) 四半期連結財務諸表

(4) 四半期連結株主資本等変動計算書

【訂正前】

	評価・換算差額等		
	その他有価証 券評価差額金	為替換算調整 勘定	評価・換算差 額等合計
・・・	・・・	・・・	・・・
株主資本以外の項目の第1四半期 連結会計期間中の変動額 (純額)	<u>3,831,486</u>	<u>1,402,709</u>	5,234,196
第1四半期連結会計期間中の変動 額合計	<u>3,831,486</u>	<u>1,402,709</u>	5,234,196
平成19年6月30日残高	<u>6,222,304</u>	<u>4,311,171</u>	10,533,476

## 【訂正後】

	評価・換算差額等		
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計
・・・	・・・	・・・	・・・
株主資本以外の項目の第1四半期連結会計期間中の変動額（純額）	<u>3,118,959</u>	<u>2,115,236</u>	5,234,196
第1四半期連結会計期間中の変動額合計	<u>3,118,959</u>	<u>2,115,236</u>	5,234,196
平成19年6月30日残高	<u>5,509,777</u>	<u>5,023,698</u>	10,533,476

以 上

平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況

平成19年8月8日

上場会社名 スパークス・グループ株式会社 上場取引所 JASDAQ  
 コード番号 8739 URL <http://www.sparxgroup.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 阿部 修平  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 深見 正敏 TEL (03) 5437-9700

(百万円未満切捨)

1. 平成20年3月期第1四半期の連結業績 (平成19年4月1日～平成19年6月30日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	8,047	△9.1	1,045	△75.6	1,354	△69.6	501	△78.1
19年3月期第1四半期	8,848	229.0	4,281	380.9	4,453	449.6	2,288	564.6
19年3月期	27,504	—	9,650	—	10,119	—	3,779	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第1四半期	251	05	243	55
19年3月期第1四半期	1,158	38	1,103	00
19年3月期	1,897	00	1,820	44

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
20年3月期第1四半期	92,274		56,860		57.6		26,564	97
19年3月期第1四半期	72,190		46,270		64.1		23,078	02
19年3月期	81,215		52,598		60.8		24,699	12

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金	
	第1四半期末	
	円	銭
19年3月期第1四半期	—	—
20年3月期第1四半期	—	—

3. 平成20年3月期の連結業績予想 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)

当社グループの主たる事業である投信投資顧問業は、業績が経済情勢や相場環境によって大きな影響を受ける状況にあります。このため、当社グループの業績を予想し開示することは難しいと認識しております。したがって当社は、業績予想の開示に代えて四半期毎の実績開示が有益な情報であると考え、継続して実施しております。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無  
新規 ー社  
除外 ー社
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- (注) 詳細は、8ページ【定性的情報・財務諸表等】5. その他をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、昨年度決算発表が集中した4月半ばから5月後半にかけて企業側から出された新年度の保守的な業績予想と、アナリストの業績予想下方修正が嫌気されて軟調に推移いたしました。東証マザーズや大証ヘラクレス市場指数は会計不信などから中小型株の下落が止まらず、小型株指数は大幅に下落し、5月の東証マザーズ指数は算出開始以来の安値に下落しました。また、急騰する中国株に世界中の注目が集まり、日本株への関心が一時低下したように見え、アジアの株式市場が上昇しても日本の株式市場が反応しない展開が続きました。その後、中国株が5月30日の印紙税引き上げにより急落したことで市場マインドが低下する局面もあったものの、米国の景気や企業業績見通しの改善を背景に株高が続き、NYダウとS&P500が史上最高値をつけたことで、出遅れ感のある日本株が注目され、外国人投資家からの大幅買い越しが続き、5月後半から日本株は反発に転じました。6月に入ると日経平均が7年ぶりの高値18,240円を更新し勢いがついたと思われましたが、米国のサブプライムローン問題で米国株が下落に転じたこと、為替が円高にふれたことから、日経平均は下落に転じ、当第1四半期末は18,138円36銭で取引を終えました。

当第1四半期は日経平均が+4.9%、TOPIXが+3.6%の上昇、セクターパフォーマンスは、新興国需要の拡大や船料の回復を受けて海運セクターが上昇率トップとなった一方、減価償却制度の変更により収益が圧迫される電力各社が低調となり、また長期金利上昇で収益環境の悪化が懸念された不動産セクターも軟調な動きとなりました。

このような環境の下、当社グループの当第1四半期末における運用資産残高は、1兆8,499億円（前期末比4.0%増、前年同月末比6.4%減）となりました。

運用会社別では、スパークス・アセット・マネジメント株式会社及びSPARX International (Hong Kong) Limited（以下、「スパークス・アセット社」）の運用資産残高が1兆2,447億円（同2.9%減、同18.3%減）、Cosmo Investment Management Co., Ltd.（以下、「コスモ社」）の運用資産残高が3,575億円（同38.2%増、同85.7%増）、PMA Capital Management Limited（以下、「PMA社」）の運用資産残高が2,476億円（同4.4%増、同5.3%減）となりました。

この結果、営業収益は残高報酬が前年同期比3.7%増の42億92百万円となりましたが、成功報酬が同20.5%減の37億16百万円、その他収益が同2.9%増の38百万円となり、全体では、同9.1%減の80億47百万円になりました。

営業費用に関しましては、販売会社向け支払手数料の増加等を反映し、同45.8%増の12億17百万円となりました。また、一般管理費は人件費の増加及びのれん償却費の計上等により、同55.0%増の57億83百万円となりました。

この結果、営業利益は同75.6%減の10億45百万円となりました。一方、経常利益は、受取配当金による営業外収益の増加があったものの、同69.6%減の13億54百万円に留まりました。

これらの結果、当期純利益は5億1百万円と、同78.1%減となりました。

（注）平成19年6月末運用資産残高は一部速報値を使用しております。

当第1四半期の当社グループの連結営業収益の項目別内訳は以下のとおりです。

項目	当第1四半期		前第1四半期		平成19年3月期	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
1. 委託者報酬	789,718	9.8	2,053,564	23.2	4,746,235	17.3
うち残高報酬	(789,360)	(9.8)	(971,248)	(11.0)	(3,660,326)	(13.3)
うち成功報酬	(357)	(0.0)	(1,082,316)	(12.2)	(1,085,909)	(4.0)
2. 投資顧問料収入	7,219,273	89.7	6,758,431	76.4	22,066,310	80.2
うち残高報酬	(3,503,417)	(43.5)	(3,167,509)	(35.8)	(13,754,556)	(50.0)
うち成功報酬	(3,715,856)	(46.2)	(3,590,922)	(40.6)	(8,311,753)	(30.2)
小計(1.+2.)	8,008,991	99.5	8,811,995	99.6	26,812,545	97.5
うち残高報酬	(4,292,777)	(53.3)	(4,138,757)	(46.8)	(17,414,882)	(63.3)
うち成功報酬	(3,716,213)	(46.2)	(4,673,238)	(52.8)	(9,397,663)	(34.2)
3. その他	38,059	0.5	37,002	0.4	692,008	2.5
営業収益合計	8,047,050	100.0	8,848,998	100.0	27,504,554	100.0

(注) ( )書きは内訳数値です。

上記のように当社グループの収益の大半は投信投資顧問料収入によって構成されております。投信投資顧問料収入は、運用資産の残高に応じて計算される残高報酬と運用成績に応じて計算される成功報酬とに大別されます。このうち残高報酬は全ての投信投資顧問業の契約で受領することができます。また、成功報酬についても、投資家、販売会社等と交渉の上、可能な限り多くの契約で受領することができるようにしております。

・残高報酬

現在の報酬料率を基準に各運用手法の特性に基づき顧客との交渉を行っております。

残高報酬料率(ネット・ベース)の推移は以下のとおりです。

区分	当第1四半期	前第1四半期	平成19年3月期
当社グループ残高報酬料率 (ネット・ベース)	0.83%	0.80%	0.80%

(注) 1. 残高報酬料率(ネット・ベース) = (残高報酬 - 残高報酬に係る支払手数料) ÷ 期中平均運用資産残高  
当第1四半期より、残高報酬料率の算定方法を変更しております。なお、前第1四半期と平成19年3月期の当社グループ残高報酬料率についても、変更後の方法で算出しております。

従来の算定方法と同方法による残高報酬料率は、以下のとおりです。

残高報酬料率(ネット・ベース) = (残高報酬 - 残高報酬に係る支払手数料及び少数株主利益) ÷ 期中平均運用資産残高

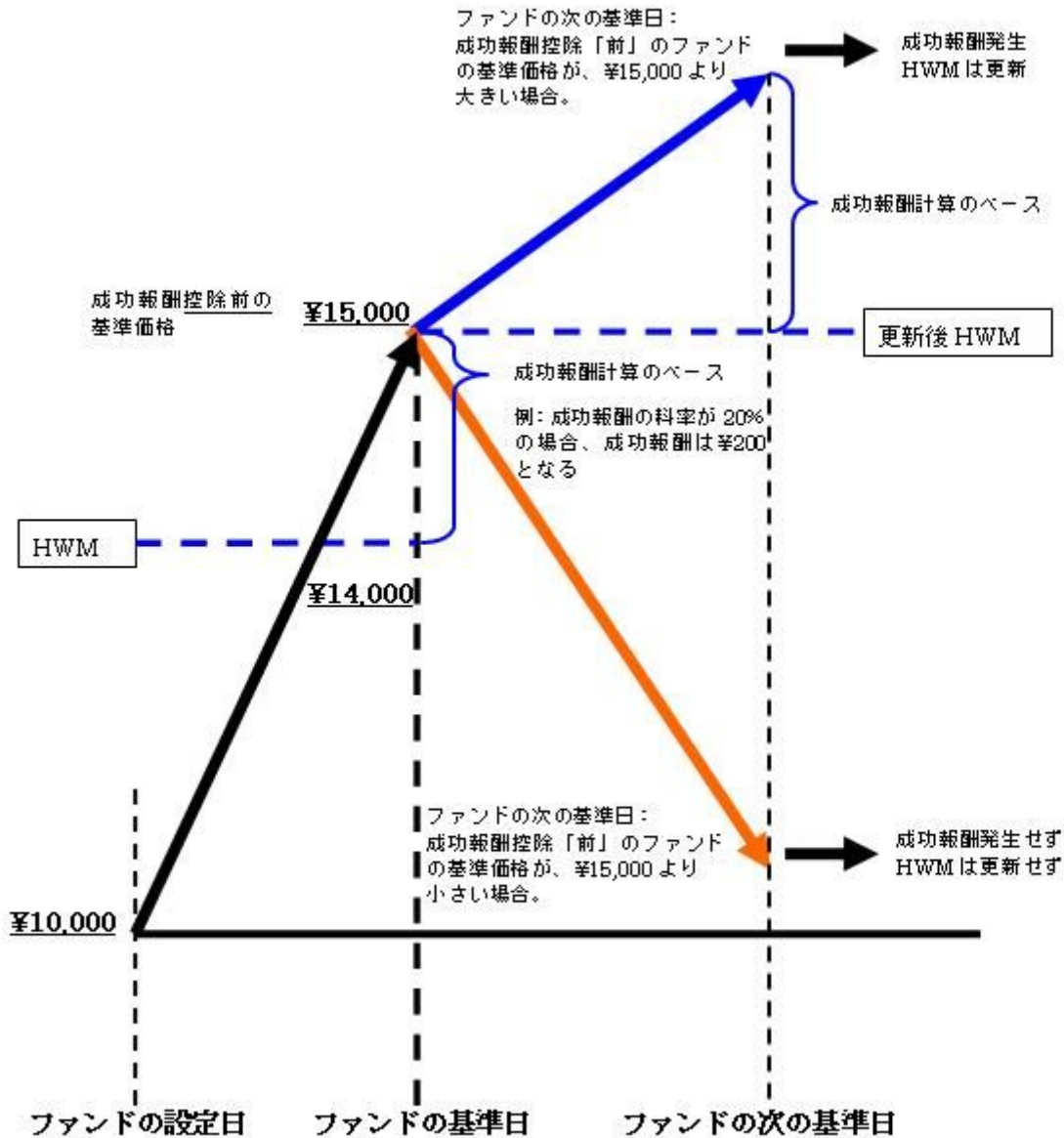
当第1四半期 0.79%、前第1四半期 0.77%、平成19年3月期 0.78%

(注) 2. 前期におけるPMA社の残高報酬料率は、当社グループが同社株式を取得した日(平成18年6月19日)以降に発生した残高報酬を基に年換算しております。

・成功報酬

単純なケースでは過去の計算期間末日の「一口当たり純資産価額」=「Net Asset Value Per Share」(以下、「NAVPS」と言います。)の最高値を今計算期間末日のNAVPSと比較して、今計算期間のNAVPSの方が高かった場合は、値上がり部分に一定料率をかけ、年一回成功報酬として計算します(これを「ハイ・ウォーター・マーク方式」と言います)。また、一定のベンチマークに対するアウトパフォーマンスや絶対的な値上がりのパーセンテージなどのハードルレートを設け、それを上回った場合にのみ成功報酬を受領できる契約となっているものもあります。

絶対リターン追求型の運用に多いハイ・ウォーター・マーク (HWM) 方式の成功報酬の仕組み



(注) 1. 上記の図は成功報酬の仕組みを簡便に説明したもので、実際の成功報酬の体系及びファンドの基準価格の計算方法を厳密に説明しているものではありません。

(注) 2. 上記では、説明の都合上、成功報酬の料率を便宜的に20%として計算しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における総資産は、922億74百万円となり、前連結会計年度末比110億58百万円の増加となりました。その主な要因は、グループ運用ファンドへの投資及び投資有価証券の時価増等による投資有価証券の増加額70億32百万円及び現預金の増加額34億25百万円によるものです。負債の部においては、短期借入金の増加額13億円、未払金の増加額24億32百万円及び長期繰延税金負債の増加額11億95百万円等が増加の主な要因となっております。

なお、純資産は568億60百万円となり、自己資本比率は57.6%と当第1四半期において3.2%低下しておりますが、これは配当19億98百万円を払い出したこと等によるものであります。

3. 運用資産残高の状況

以下の表は、当社グループ（スパークス・アセット社、コスモ社、PMA社）の当期運用資産残高の状況を示したものです。

以下、数値は当社の持分に係らず運用資産残高の100%を記載しておりますが、当社以外の出資者持分については少数株主損益が計上されます。当社の持分が100%未満のグループ会社の当社持分は以下のとおりであります。

会社名	当社持分
コスモ社	51.9%
SPARX Value GP, LLC	70.0%

■会社別の内訳

① 当第1四半期の月末運用資産残高の推移

(単位：億円)

会社名	平成19年4月	平成19年5月	平成19年6月
スパークス・アセット社	12,419	12,301	12,447
コスモ社	2,779	3,299	3,575
PMA社	2,311	2,384	2,476
合計	17,510	17,985	18,499

- (注) 1. 金額は、時価純資産額であり、表示単位未満を切り捨てて表示しております。なお、上記金額は、各月末時点における実際の運用に係る金額のみではなく、コミットメント・ベース等により契約上運用報酬の算定の対象となる金額がある場合は、これを含め表示しております。
2. 平成19年6月末の残高は一部速報値を使用しております。

②平均運用資産残高の推移

(単位：億円)

会社名	当第1四半期	前第1四半期	平成19年3月期
スパークス・アセット社	12,389	15,635	14,177
コスモ社	3,218	1,889	2,210
PMA社	2,390	2,579	2,535
平均運用資産残高	17,998	20,105	18,922

- (注) 1. 各期の月末運用資産残高の単純平均であります。
2. 金額は、時価純資産額であり、表示単位未満を切り捨てて表示しております。なお、上記金額は、各月末時点における実際の運用に係る金額のみではなく、コミットメント・ベース等により契約上運用報酬の算定の対象となる金額がある場合は、これを含め表示しております。
3. 平成19年6月末の残高は一部速報値を使用しております。

③成功報酬付期末運用資産残高及び比率の推移

会社名		当第1四半期	前第1四半期	平成19年3月
スパークス・アセット社	残高(億円)	6,254	7,112	6,475
	比率(%)	50.2	46.7	50.5
コスモ社	残高(億円)	3,071	1,589	2,255
	比率(%)	85.9	82.6	87.2
PMA社	残高(億円)	2,476	2,615	2,370
	比率(%)	100.0	100.0	100.0
合計	残高(億円)	11,801	11,317	11,101
	比率(%)	63.8	57.2	62.4

- (注) 1. 金額は、時価純資産額であり、表示単位未満を切り捨てて表示しております。なお、上記の金額は、各月末時点における実際の運用に係る金額のみではなく、コミットメント・ベース等により契約上運用報酬の算定の対象となる金額がある場合は、これを含め表示しております。
2. 平成19年6月末の残高は一部速報値を使用しております。

■スパークス・アセット社運用資産残高の内訳

① 当第1四半期の投資戦略別月末運用資産残高の推移

(単位：億円)

投資戦略	平成19年4月	平成19年5月	平成19年6月
日本株式ロング・ショート投資戦略	2,527	2,458	2,406
日本株式集中投資戦略	630	598	611
ファンド・オブ・ファンズ投資戦略	748	776	798
日本株式一般投資戦略	4,091	4,088	4,117
日本株式中小型投資戦略	2,750	2,685	2,722
日本株式バリュー・クリエーション投資戦略	1,610	1,632	1,701
日本株式未公開株式投資戦略	41	41	70
その他	19	19	19
合計	12,419	12,301	12,447

- (注) 1. 金額は、時価純資産額であり、表示単位未満を切り捨てて表示しております。なお、上記の金額は、各月末時点における実際の運用に係る金額のみではなく、コミットメント・ベース等により契約上運用報酬の算定の対象となる金額がある場合は、これを含め表示しております。
2. 平成19年6月末の残高は一部速報値を使用しております。

② 当第1四半期の国内外別月末運用資産残高の推移

(単位：億円)

区分	平成19年4月	平成19年5月	平成19年6月
国内	3,803	3,776	3,796
国外	8,615	8,525	8,651
合計	12,419	12,301	12,447

- (注) 1. 国内・国外の区分けは、ファンドの場合はファンドが組成された地域、投資一任契約及び投資顧問契約の場合は契約相手方の所在地域によっております。
2. 金額は、時価純資産額であり、表示単位未満を切り捨てて表示しております。なお、上記の金額は、各月末時点における実際の運用に係る金額のみではなく、コミットメント・ベース等により契約上運用報酬の算定の対象となる金額がある場合は、これを含め表示しております。
3. 平成19年6月末の残高は一部速報値を使用しております。

③ 当第1四半期の契約形態別月末運用資産残高の推移

(単位：億円)

区分	平成19年4月	平成19年5月	平成19年6月
投資顧問業	10,118	10,041	10,220
投資信託委託業	2,300	2,260	2,227
合計	12,419	12,301	12,447

- (注) 1. 金額は、時価純資産額であり、表示単位未満を切り捨てて表示しております。なお、上記の金額は、各月末時点における実際の運用に係る金額のみではなく、コミットメント・ベース等により契約上運用報酬の算定の対象となる金額がある場合は、これを含め表示しております。
2. 平成19年6月末の残高は一部速報値を使用しております。

■コスモ社運用資産残高の内訳

① 当第1四半期の投資戦略別月末運用資産残高の推移

(単位：億円)

投資戦略	平成19年4月	平成19年5月	平成19年6月
韓国株式ロング・ショート投資戦略	397	460	525
韓国株式集中投資戦略	193	240	269
韓国株式一般投資戦略	656	828	974
韓国株式インデックス運用戦略	1,388	1,603	1,630
その他	143	167	175
合計	2,779	3,299	3,575

- (注) 金額は、時価純資産額であり、表示単位未満を切り捨てて表示しております。なお、上記の金額は、各月末時点における実際の運用に係る金額のみではなく、コミットメント・ベース等により契約上運用報酬の算定の対象となる金額がある場合は、これを含め表示しております。

■ PMA社運用資産残高の内訳

① 当第1四半期の投資戦略別月末運用資産残高の推移

(単位：億円)

投資戦略	平成19年4月	平成19年5月	平成19年6月
アジア株式投資戦略	990	999	1,048
アジア・欧州債券投資戦略	1,222	1,269	1,307
アジア・マクロ投資戦略	98	114	120
合計	2,311	2,384	2,476

(注) 金額は、時価純資産額であり、表示単位未満を切り捨てて表示しております。なお、上記の金額は、各月末時点における実際の運用に係る金額のみではなく、コミットメント・ベース等により契約上運用報酬の算定の対象となる金額がある場合は、これを含め表示しております。

4. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの収益の大半は投信投資顧問業に係る委託者報酬及び投資顧問料収入によって構成されております。通期の見通しにつきましては、当社グループの事業内容が国内外の経済情勢や相場環境によって大きな影響を受ける状況にあることから、業績を予想し開示することは難しいと認識しております。したがって当社は、業績予想の開示に代えて四半期毎の実績開示が有益な情報であると考え、継続して実施しております。

5. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

該当事項はありません。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

6. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円、%)

科目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 前期末 (平成19年3月期末)
	金 額	金 額	金 額	増 減 率	金 額
(資産の部)					
I 流動資産					
1. 現金及び預金	10,368,196	18,340,118	7,971,922	76.9	14,914,709
2. 未収委託者報酬	1,063,170	880,661	△182,508	△17.2	825,222
3. 未収投資顧問料	7,801,417	7,016,607	△784,810	△10.1	4,868,106
4. 有価証券	—	501,933	501,933	—	3,623,374
5. 営業投資有価証券	7,581,889	10,761,776	3,179,886	41.9	8,772,225
6. 前払費用	168,433	279,692	111,259	66.1	197,874
7. 預け金	1,049,327	980,958	△68,368	△6.5	2,896,054
8. 繰延税金資産	757,225	762,219	4,993	0.7	702,662
9. その他	998,663	755,624	△243,038	△24.3	444,927
流動資産合計	29,788,323	40,279,591	10,491,267	35.2	37,245,157
II 固定資産					
1. 有形固定資産	848,309	806,868	△41,441	△4.9	836,079
2. 無形固定資産					
(1) のれん	24,611,403	25,826,956	1,215,552	4.9	24,938,035
(2) その他	197,286	223,768	26,481	13.4	216,701
無形固定資産合計	24,808,690	26,050,724	1,242,034	5.0	25,154,736
3. 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券	15,868,701	24,119,428	8,250,727	52.0	17,086,591
(2) 差入保証金	680,301	712,710	32,409	4.8	687,824
(3) その他	195,944	305,455	109,511	55.9	205,417
投資その他の資産合計	16,744,947	25,137,594	8,392,647	50.1	17,979,834
固定資産合計	42,401,947	51,995,187	9,593,240	22.6	43,970,650
資産合計	72,190,271	92,274,779	20,084,508	27.8	81,215,807

科目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 前期末 (平成19年3月期末)
	金 額	金 額	金 額	増 減 率	金 額
(負債の部)					
I 流動負債					
1. 短期借入金	11,500,000	5,300,000	△6,200,000	△53.9	4,000,000
2. 未払金	4,886,995	4,424,939	△462,055	△9.5	1,991,999
3. 未払法人税等	1,834,429	1,863,598	29,168	1.6	2,850,484
4. 賞与引当金	500,808	454,140	△46,668	△9.3	—
5. 繰延税金負債	—	2,035,179	2,035,179	—	1,104,796
6. その他	495,702	1,734,326	1,238,623	249.9	266,457
流動負債合計	19,217,935	15,812,183	△3,405,752	△17.7	10,213,737
II 固定負債					
1. 社債	5,000,000	5,000,000	—	—	5,000,000
2. 長期借入金	—	12,000,000	12,000,000	—	12,000,000
3. 繰延税金負債	827,871	2,585,338	1,757,466	212.3	1,389,546
4. その他	29,585	16,327	△13,257	△44.8	13,723
固定負債合計	5,857,456	19,601,665	13,744,209	234.6	18,403,270
III 特別法上の準備金等					
1. 証券取引責任 準備金	49	49	—	—	49
特別法上の準備金 等合計	49	49	—	—	49
負債合計	25,075,441	35,413,898	10,338,457	41.2	28,617,056
(少数株主持分)					
少数株主持分	844,206	—	—	—	—
(資本の部)					
I 資本金	11,624,590	—	—	—	—
II 資本剰余金	13,510,999	—	—	—	—
III 利益剰余金	19,504,803	—	—	—	—
IV その他有価証券評価差 額金	1,251,573	—	—	—	—
V 為替換算調整勘定	817,110	—	—	—	—
VI 自己株式	△438,454	—	—	—	—
資本合計	46,270,622	—	—	—	—
負債、少数株主持分及 び資本合計	72,190,271	—	—	—	—

科目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 前期末 (平成19年3月期末)
	金 額	金 額	金 額	増 減 率	金 額
(純資産の部)					
I 株主資本					
1. 資本金	—	11,828,286	—	—	11,806,019
2. 資本剰余金	—	13,714,824	—	—	13,692,557
3. 利益剰余金	—	19,499,435	—	—	20,996,018
4. 自己株式	—	△2,438,379	—	—	△2,438,379
株主資本合計	—	42,604,167	—	—	44,056,215
II 評価・換算差額等					
1. その他有価証券評価 差額金	—	6,222,304	—	—	2,390,817
2. 為替換算調整勘定	—	4,311,171	—	—	2,908,462
評価・換算差額等合計	—	10,533,476	—	—	5,299,280
III 新株予約権	—	8,454	—	—	—
IV 少数株主持分	—	3,714,782	—	—	3,243,255
純資産合計	—	56,860,881	—	—	52,598,750
負債・純資産合計	—	92,274,779	—	—	81,215,807

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：千円、%)

科目	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)	増 減		(参考) 前期 (平成19年3月期)
	金 額	金 額	金 額	増 減 率	金 額
I 営業収益	8,848,998	8,047,050	△801,947	△9.1	27,504,554
II 営業費用	835,637	1,217,971	382,334	45.8	3,969,815
III 一般管理費	3,731,581	5,783,274	2,051,692	55.0	13,884,356
営業利益	4,281,779	1,045,804	△3,235,974	△75.6	9,650,382
IV 営業外収益	353,630	417,205	63,574	18.0	799,136
V 営業外費用	181,864	108,974	△72,889	△40.1	330,365
経常利益	4,453,545	1,354,035	△3,099,509	△69.6	10,119,153
VI 特別利益	3,146	202,245	199,099	—	349,680
VII 特別損失	415	15,649	15,233	—	191,479
税金等調整前第1四半期(当期)純利益	4,456,275	1,540,631	△2,915,644	△65.4	10,277,355
法人税等	1,805,718	—	—	—	—
法人税、住民税及び 事業税	—	788,168	—	—	5,387,925
過年度法人税等追徴 税額	—	—	—	—	314,560
法人税等調整額	80,686	△53,951	△134,637	—	△260,287
少数株主利益	281,208	304,726	23,518	8.4	1,055,279
第1四半期(当期) 純利益	2,288,662	501,687	△1,786,975	△78.1	3,779,877

(3) 四半期連結剰余金計算書

(単位：千円)

科目	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	
	金額	
(資本剰余金の部)		
I 資本剰余金期首残高		11,239,281
II 資本剰余金増加高		
1. 新株引受権の行使による増加	5,172	
2. 自己株式の処分による増加	2,266,545	2,271,717
III 資本剰余金第1四半期末残高		13,510,999
(利益剰余金の部)		
I 利益剰余金期首残高		19,369,969
II 利益剰余金増加高		
第1四半期純利益	2,288,662	2,288,662
III 利益剰余金減少高		
1. 配当金	1,971,328	
2. 役員賞与金	182,500	2,153,828
IV 利益剰余金第1四半期末残高		19,504,803

(4) 四半期連結株主資本等変動計算書

当四半期 (平成20年3月期第1四半期)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成19年3月31日残高	11,806,019	13,692,557	20,996,018	△2,438,379	44,056,215
第1四半期連結会計期間中の変動額					
新株の発行	22,266	22,266	—	—	44,533
剰余金の配当(注)	—	—	△1,998,269	—	△1,998,269
役員賞与	—	—	—	—	—
第1四半期純利益	—	—	501,687	—	501,687
自己株式の取得	—	—	—	—	—
自己株式の処分	—	—	—	—	—
株主資本以外の項目の第1四半期連結会計期間中の変動額(純額)	—	—	—	—	—
第1四半期連結会計期間中の変動額合計	22,266	22,266	△1,496,582	—	△1,452,048
平成19年6月30日残高	11,828,286	13,714,824	19,499,435	△2,438,379	42,604,167

	評価・換算差額等			新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計			
平成19年3月31日残高	2,390,817	2,908,462	5,299,280	—	3,243,255	52,598,750
第1四半期連結会計期間中の変動額						
新株の発行	—	—	—	—	—	44,533
剰余金の配当(注)	—	—	—	—	—	△1,998,269
役員賞与	—	—	—	—	—	—
第1四半期純利益	—	—	—	—	—	501,687
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—
自己株式の処分	—	—	—	—	—	—
株主資本以外の項目の第1四半期連結会計期間中の変動額(純額)	3,831,486	1,402,709	5,234,196	8,454	471,527	5,714,178
第1四半期連結会計期間中の変動額合計	3,831,486	1,402,709	5,234,196	8,454	471,527	4,262,130
平成19年6月30日残高	6,222,304	4,311,171	10,533,476	8,454	3,714,782	56,860,881

(注) 平成19年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

(参考) 前期 (平成19年3月期)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年3月31日残高	11,619,418	11,239,281	19,369,969	△3,003,162	39,225,507
連結会計期間中の変動額					
新株の発行	186,601	186,730	—	—	373,331
剰余金の配当(注)	—	—	△1,971,328	—	△1,971,328
役員賞与(注)	—	—	△182,500	—	△182,500
当期純利益	—	—	3,779,877	—	3,779,877
自己株式の取得	—	—	—	△1,999,924	△1,999,924
自己株式の処分	—	2,266,545	—	2,564,707	4,831,253
株主資本以外の項目の連結会計期間中の変動額(純額)	—	—	—	—	—
連結会計期間中の変動額合計	186,601	2,453,275	1,626,048	564,782	4,830,708
平成19年3月31日残高	11,806,019	13,692,557	20,996,018	△2,438,379	44,056,215

	評価・換算差額等			新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計			
平成18年3月31日残高	1,797,472	△33,868	1,763,604	—	748,686	41,737,798
連結会計期間中の変動額						
新株の発行	—	—	—	△129	—	373,202
剰余金の配当(注)	—	—	—	—	—	△1,971,328
役員賞与(注)	—	—	—	—	—	△182,500
当期純利益	—	—	—	—	—	3,779,877
自己株式の取得	—	—	—	—	—	△1,999,924
自己株式の処分	—	—	—	—	—	4,831,253
株主資本以外の項目の連結会計期間中の変動額(純額)	593,345	2,942,330	3,535,675	129	2,494,568	6,030,373
連結会計期間中の変動額合計	593,345	2,942,330	3,535,675	—	2,494,568	10,860,952
平成19年3月31日残高	2,390,817	2,908,462	5,299,280	—	3,243,255	52,598,750

(注) 平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

(5) 注記事項  
(重要な後発事象)

前年同四半期 (平成19年3期第1四半期)	当四半期 (平成20年3月期第1四半期)	(参考) 前期 (平成19年3月期)
	<p>1. 子会社への増資について                      当社は平成19年6月26日開催の取締役会において、子会社であるSPARX Global Strategies, Inc. (以下「SGS」といいます。)への増資を決議し、平成19年7月に増資を実施いたしました。</p> <p>(1) 増資の理由                      当社グループ内における海外業務の効率化に伴い、SGSは平成19年12月末を目途に清算する予定であります。SGSの清算までに発生する費用を補うため、所要資金を増資するものであります。</p> <p>(2) 子会社の概要</p> <p>① 商号                      SPARX Global Strategies, Inc.</p> <p>② 主な事業内容                      グループ会社へのコンサルティング業務</p> <p>③ 設立年月日 平成8年1月9日</p> <p>④ 本店所在地 米国ハワイ州</p> <p>⑤ 代表者名 Matthew Kubo</p> <p>⑥ 資本金の額 1,000米国ドル</p> <p>⑦ 発行済株式数 100株</p> <p>⑧ 純資産 304千米国ドル                      (平成19年3月末現在)</p> <p>⑨ 総資産 574千米国ドル                      (平成19年3月末現在)</p> <p>⑩ 事業年度の末日 12月31日</p> <p>⑪ 主要取引先                      スパークス・アセット・マネジメント株式会社</p> <p>⑫ 大株主および持株比率                      スパークス・グループ株式会社                      (直接 100%)</p> <p>(3) 増資払込金額                      745千米国ドル (90,986千円)</p>	